



民生委員・児童委員
藤井晃正さん

互いに支え合う社会をめざして

民生委員として38年目を迎えました。これまで私が長年委員活動をしているのは、困りごとが解決した時の相談者の喜びの声を聞くことが何よりも嬉しいからです。自身が住んでいる農村地域を担当しており、相談者は幼少期から良く知っている方が多くおられます。民生委員として、気軽に相談してもらえるのはありがたいことです。また、委員活動では「見る」ことを大切にしています。独居老人やサロンに参加している方には必ず顔を合わせ、お話を聞きながら様子が変わりがないか確認しています。自身の活動を支えてくれている周りの方にも感謝しながら、これからも互いに支え合う社会をめざして努めていきます。

見守り、支え、つなぐことが役割

日常生活の中で散歩中に地域の方に声を掛けたり、家で食べきれない家庭菜園で作った野菜を届けるために訪問した際などに困っていることはないか様子を伺うことを心掛けています。また、困っている方がいた場合は、わかる範囲でアドバイスをしたり、必要に応じて関係機関のスタッフと一緒に訪問して話を聞いたりしています。私は過去に福祉機関に勤めていたので、その経験も生かせる委員活動にやりがいを感じています。また、民生委員として研修会などに参加することで新たな学びにもつながっています。これからも見守りを中心に活動を続けていきます。



民生委員・児童委員
藤原和実さん

子どもたち一人一人に寄り添う

主任児童委員は、学校や地域で子どもたちの日常を見守ることが主な役割です。委員活動を通じて、地域の人たちと新たなつながりができたことは私にとって財産です。また、子どもたちと触れ合うことで私自身も元気をもらっています。現在は地域の方が集まる食堂やサロンなどに参加して交流を深めながらさまざまなお話を聞き、困りごとを聞いた場合は関係機関につないでいます。昨年から小学校で、児童の登校時のあいさつ運動にも参加し、子どもたちの様子をよく見ています。これからも一人一人に寄り添いながら、地域の人たちと共に子どもたち全員が幸せに育つ社会をめざして活動していきます。



主任児童委員
大北由美子さん

民生委員・児童委員として一緒に活動しませんか？



▲兵庫県民生委員・児童委員
キャラクター「兵庫県版ミンジー」

それぞれの委員がやりがいを持って活動しています！

民生委員・児童委員は3年の任期で、自治会長からの推薦を受け、推薦会を経て、厚生労働大臣から委嘱されて、それぞれの担当地区で活動しています。今年の12月1日に一斉に改選されます。この機会に民生委員・児童委員として、地域福祉に関わってみませんか？



学校での朝のあいさつ運動

小学校で登校する子どもたちを出迎えます。ここでは小さな変化も見逃さないように心掛けています。

子どもたちの笑顔が元気の源



民生委員・児童委員会議

月に1度定例会を開催し、委員間の連携を図るとともに、支援方法の検討や研修も行っています。

活動を報告し合いみんなが解決



「くらしあんしんシート」の作成

暮らしを守るための情報共有

民生委員・児童委員の活動紹介

民生委員・児童委員の現場に密着！
日頃の活動の一部を紹介します。



関係機関に出向き情報収集

困っている人を支援するために、専門機関に相談し、情報を収集しています。

支援につながるための協力



日常生活での見守り

出会った人と話をしながら、生活に困りごとがないか確認しています。

みんなの顔を見ることが日課



地域の方との交流

地域の方が集まる食堂やサロンなどに参加し、交流を図っています。

地域交流で新たなつながり